

令和7年度 鎌倉広可緑地 指定管理者 自己評価シート兼実績評価シート

指定管理者名（代表者名）	特定非営利活動法人 鎌倉広可の森市民の会（理事長 滝沢 亮）
施設名	鎌倉広可緑地
所在地	鎌倉市津1133番地
指定管理期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

評価項目	主な評価内容	指定管理者による評価					
		令和7年7月（評価期間：4月～6月）		令和7年10月（評価期間：7月～9月）		令和8年4月（評価期間：10月～3月）	
		評価	達成できなかったこと及び理由	評価	達成できなかったこと及び理由	評価	達成できなかったこと及び理由
利用サービス	・条例で規制する制限行為及び禁止行為に対する指導や、看板等により危険生物に対する注意喚起看板による注意喚起を適切に行ったか。 ・利用者からの要望に適切に応えたか。 ・事業計画書や提案書に基づき、掲示板、説明板の設置を行ったか。 ・アンケート等により、利用者満足度調査を行ったか。	概ね達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
利用促進	事業計画書や提案書に基づき、ホームページやその他の媒体を活用し、情報発信や鎌倉広可緑地の魅力発信等の取組みを実施したか。	達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
自主事業	・利用者のニーズを踏まえ、鎌倉広可緑地の利用促進に効果がある自主事業を実施したか。 ・事業計画書や提案書に基づき、新たに実施する予定の自主事業は、検討したか。実施後は利用者からのアンケート等により、評価を分析したか。	達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
文書管理	・管理業務に係る協議や報告等は、適正に市に報告したか。 ・基本協定書に定めた定期報告書や自己評価等は、定められた期日までに、提出したか。	概ね達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
施設管理	・適正な人員配置、勤務体制で施設管理を行ったか。 ・各施設で定められた管理水準を達成したか。また、便益施設の設置、管理を行ったか。 ・樹木等の植物を適切な時期に管理、作業したか。	概ね達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
安全管理の方策	・定期点検や巡回、要望等で判明した、鎌倉広可緑地内の危険箇所について、利用者に対する注意喚起をするように、標榜や防護等の対策を行ったか。 ・事故や事件が起きた場合、決められた連絡体制やマニュアルにより適切に対応できたか。また、台風、大雨、異常気象等の発生後、速やかに施設巡回したか。	概ね達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
地域との連携	・地域のボランティア活動団体や、周辺自治会との連携する場に関する取組みを行ったか。 ・事業計画書や提案書に基づき、地域住民や社会貢献に関する取組みを行ったか。	達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
法令の遵守	・情報公開請求は適切に対応したか。 ・個人情報に関する事故はなかったか。 ・都市公園に係る法令、労働関係法令を遵守したか。	概ね達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
人材の育成	・実施計画に基づいたスタッフ・ボランティア研修を実施したか。 ・スタッフ内での情報共有について、システム構築を図ったか。資格取得に関する支援や、新たにスタッフが資格を取得した実績はあるか。	概ね達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				
収支計画・環境保全の取組み	・収支計画に基づいた、適正な予算執行を行ったか。 ・鎌倉市が取り組んでいる「ゼロ・ウェイストかまくら」、「かまくらプラこみゼロ宣言」等、環境に配慮した取組みや、経費縮減につながるような取組みを行ったか。	概ね達成できた	・特に実施できなかったことは無い。				

指定管理者の自己評価

（全般的）6年度末に欠員補充含め4名の新スタッフを採用し新たな体制で87年度を開始した。団体の経営基盤安定化推進として、業務区分の明確化、担当理事制、チームリーダー制を導入し運営改善に努めた。これらの結果として、昨年度から力を入れて来た中期的な視点での緑地管理計画づくりと進捗管理、また、要望等含む従来からの緑地管理の運営改善、指定管理業務全体の企画運営等業務の充たがきつつある点は評価できる。
（利用促進）広報の改善として「ホームページのリニューアル」を開始した。ボランティア募集方法を5つの会活動への体験を中心としたものに改革しました。応募者は増加傾向にあります。また、新たなボランティア募集の企画も開始しボランティアの充実に成果が出つつある。
（施設管理）開園10年が経過し、外周部緑地管理の対応として「外周部中長期管理計画（仮称）」の検討を進め、昨年提案した資料の見直しを行い、新たな取り組みの提案を行ったことは評価できる。続いて、園路舗装、河川護岸について上期中に取りまとめる作業を推進していることは評価できる。
生態系保全の視点の諸活動を推進した。外来生物等対応としてアライグマの駆除を環境政策課の協力を得て4月から実施(8月末終了予定)したことは評価できる。

市（みどり公園課）の実績評価

ポータル観察期間において、通常よりも来園者が増えることを見込み、混雑しても安全に利用できるよう対応したことを評価する。外来動物の捕獲は関連法令を遵守すること。利用促進において、SNSや広報誌を工夫して作成し、公園の魅力を利用者に発信したことを評価する。自主事業において、慶應義塾大学と連携し、ドローンを利用した生態系調査を行った。森林資源量のモニタリングに活用できることだが、冬期の調査終了後に成果物が提出されることを期待する。
施設管理において、公園内の除草、樹木剪定を適切に行い、近隣住民の要望にも真摯に対応している。鎌倉広可緑地に隣接している家屋も多いため、倒木・枝折れが起きた際は被害につながる可能性がある。引き続きパトロールと、周辺住民から危険木の通報があった際は、すみやかに対応するよう努めること。また、外周部の樹木管理について、現地調査を行い、優先度をつけて計画をしていることは評価できる。しかし、現開園での指定管理業務内で完結できない事項がある場合は、市と協議し、方針を決めること。
広可緑地のボランティア活動の安全管理に努め、様々な対策をしていることを評価し、引き続き期待する。

評価基準	
大幅に達成できた	事業計画、提案書の内容を大きく上回る管理運営を実施した。 又は事業計画、提案書を上回る管理運営が実施できたことに加え、更なる目標達成に向け、非常に努力した。
達成できた	事業計画、提案書の内容を上回る管理運営を実施した。 又は事業計画、提案書の内容とどりの管理運営を実施したことに加え、更なる目標達成に向け、努力した。
概ね達成できた	事業計画、提案書の内容とどりの管理運営を実施した。 又は事業計画、提案書の内容の一部下回る管理運営となったが、目標達成に向け、取組みや課題の改善を積極的に行った。
やや達成できなかった	事業計画、提案書の内容が、一部下回る管理運営となった。 又は事業計画、提案書の内容を大きく下回ったが、目標達成に向けた取組みや課題の改善を行った。
達成できなかった	事業計画、提案書に基づいた管理運営を行えなかった。 又は事業計画、提案書の内容を下回ったが、目標達成に向けた取組みや課題等の改善も行えなかった。